

2021 年度畑作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

2021 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2021 年 12 月 2 日(木)～3 日(金)に Zoom を用いた Web 会議において開催された。

この検討会には、試験場関係者 62 名、委託関係者 41 名ほか、計 121 名の参集を得て、除草剤 27 薬剤 (165 点)、

生育調節剤 1 薬剤 (2 点)、展着剤 1 薬剤 (4 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

2021 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1. AC-263 液 イマザモックスアン モニウム塩:0.85% [BASFジャパン]	大豆	実・継	一年生広 葉雑草	茎葉兼 土壌処 理 (全面)	大豆出芽直前 ～本葉1葉 期, 雑草発生 始期～2葉期	200～ 300mL ＜散布水量 100L＞	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・大豆に縮葉や褐変 が生じる場合がある	・一年生イネ科雑草に 対する効果・葉害の年 次変動の確認(東北以 南)
			一年生雑 草		大豆出芽前期 ～本葉 3葉期, 雑草発生始期 ～2葉期			東北以南		
			一年生広 葉雑草	茎葉兼 土壌処 理 (畦間)	大豆生育期, 雑草2葉期ま で	北海道	・作物に飛散しない ように散布する ・体系処理;イネ科雑 草対象の土壌処理剤 を使用する			
2. AKD-7198 液 新規化合物:11% [アグロカネショウ]	大豆	—							(作用性)	
3. BAS-656 乳 ジメテナミドP:64.0% [BASFジャパン]	ばれい しょ	実	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	ばれいしょ植 付後萌芽前, 雑草発生前	75～ 120mL<散 布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	アカザ科・アブラナ 科・タデ科には効果 が劣る	
4. BCH-181 フロアブ ル チエンカルバゾンメ チル:2.9% ホラムスフロ ン :4.8% [バイエルクロップサ イエンス]	てんさい (ALS阻 害 剤耐 性)(直播)	実・継	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	てんさい子葉 期以降, 雑草 発生始期	50～100mL ＜散布水量 50L＞	全土壌(砂 土を除く)	全域	・低薬量, 高水量で はシロザに対する効 果が劣る場合がある	・散布水量25Lにおけ る効果・葉害の確認 (子葉期以降・雑草発 生始期, 広葉雑草1～ 2葉期, 広葉雑草3～4 葉期) ・散布水量100Lにおけ る効果・葉害の確認 (子葉期以降・雑草発 生始期)
				茎葉兼 土壌処 理(全 面)	てんさい子葉 期以降, 広葉 雑草1～2葉期					
					てんさい子葉 期以降, 広葉 雑草3～4葉期	50～100mL ＜散布水量 50～100L＞				

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
4. BCH-181 フロアブル つづき	てんさい (ALS阻害 剤耐性) (移植)	実・継	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	てんさい移植 後、雑草発生 始期	50～100mL <散布水量 50L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・散布水量25L/10aに おける効果・薬害の確 認(移植後雑草発生始 期、広葉雑草1～2葉 期、広葉雑草3～4葉 期) ・散布水量100L/10aに おける効果・薬害の確 認(移植後雑草発生始 期)
				茎葉兼 土壌処 理(全 面)	てんさい移植 後、広葉雑草 1～2葉期					
					てんさい移植 後、広葉雑草 3～4葉期	50～ 100mL<散 布水量50 ～100L>				
5. HMB-0901 フロアブル フェンメディファ ム14.7% メタミトロン:27.0% [夕張ツムラ, アダマ・ ジャパン, ホクサン]	とりかぶ と	実	一年生広 葉雑草	茎葉処 理(全 面)	とりかぶと生 育期、雑草発 生揃期	500～ 700mL <散布水量 100L>	全土壌	全域	・展着剤を加用する ・前処理剤との組み 合わせで使用する	
6. Hoe-866 液 グルホシネート :18.5% [BASF ジャパン]	大豆	実・継	一年生雑 草	茎葉(全 面)	大豆播種前10 ～14日	300～ 500mL <散布水量 100～ 150L>	全土壌	東北以南	・雑草の生育量に応 じて薬量を増減する ・播種後土壌処理剤 との体系処理をする	・低薬量での効果・薬 害の確認(播種後出芽 前) ・効果・薬害の確認(播 種後出芽前、北海道、 九州)
					大豆播種後出 芽前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)			東北以南 (九州を除 く)	・大豆の発芽開始後 は、薬剤が直接触れ ると薬害が発生する ことがあるので注意する	
				茎葉(畦 間)	大豆生育期 雑草生育期	全域		・作物に飛散しないよ うに散布する ・雑草の草丈30cm以 下で散布する	・専用ノズルを使用す る ・噴口はできるだけ低 くし、本葉にかからな いように散布する	
				茎葉(畦 間・株間)	生育期(本葉5 葉期以降), 雑 草生育期(草 丈20cm以下)					
とうもろ こし(飼料 用)	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または播 種前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 500mL <散布水量 100～150L>	全土壌	東北以南		・効果・薬害の年次変 動の確認(耕起または 播種前) ・効果・薬害の確認(畦 間処理)	
とうもろ こし(食 用)	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または播 種前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 500mL <散布水量 100～150L>	全土壌	東北以南		・効果・薬害の年次変 動の確認(耕起または 播種前) ・効果・薬害の確認(畦 間処理)	
ひまわり (種子)	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または播 種前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 500mL<散 布水量100 ～150L>	全土壌	東北以南		・効果・薬害の確認(畦 間処理)	
さとうき び (春植え)	実・継	一年生雑 草, 多年 生広葉雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または植 付前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域		・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認	
さとうき び (夏植え)	実・継	一年生雑 草, 多年 生広葉雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または植 付前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域		・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認	

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
6. Hoe-866 液 つづき	さとうき び (春植え)	実・継	一年生雑 草, 多年 生広葉雑 草	茎葉処 理(畦 間)	さとうきび生 育期, 雑草生 育期	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しない ように散布する ・雑草の草丈30cm以 下で散布する	・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
	さとうき び (夏植え)	実・継	一年生雑 草, 多年 生広葉雑 草	茎葉処 理(畦 間)	さとうきび生 育期, 雑草生 育期	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しない ように散布する ・雑草の草丈30cm以 下で散布する	・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
	さとうき び (株出し)	実・継	一年生雑 草, 多年 生広葉雑 草	茎葉処 理(畦 間)	さとうきび生 育期, 雑草生 育期	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しない ように散布する ・雑草の草丈30cm以 下で散布する	・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
	さとうき び	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理(圃場 内周縁 部)	さとうきび生 育期, 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	500～ 2000mL <散布水量 100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しない ように散布する	・薬量300mLにおける 効果・薬害の確認 ・多年生雑草に対する 効果の確認
7. HOK-1911 水和 ジメテナミドP:15.4% レナシル:19.2% [北興化学工業]	てんさい (移植)	実・継	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	てんさい移植 後, 雑草発生 前～始期	300～ 500g<散布 水量80～ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・雑草発生始期処理 では, 展着剤を加用 する	・シロザに対する効果 の年次変動の確認
	てんさい	継								・効果・薬害の確認(中 耕後, 雑草発生前～ 始)
8. HSW-1801 フロアブル ピロキサスルホン :3.5% メトプロムロン :25.9% [ホクサン]	ばれい しょ	実・継	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	ばれいしょ植 付後萌芽前, 雑草発生前	300～ 500mL<散 布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道		・薬害の発生要因につ いての確認 ・効果・薬害の確認(東 北以南)
9. KUH-043 顆粒水和 ピロキサスルホン50% [クミアイ化学工業]	とうもろ こし(飼料 用・食用)	実・継	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	とうもろこし 播種後出芽 前, 雑草発生 前	20～40g <散布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道		・効果・薬害の確認(出 芽直前～出芽揃, と うもろこし1～2葉期)
10. KUH-209 乳 ジメテナミドP:7.2% ピロキサスルホ ン:1.2% リニユロン:9.6% [クミアイ化学工業] 【有効成分含有率変 更6/25】	大豆	実・継	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	大豆播種後出 芽前, 雑草発 生前	300～ 500mL<散 布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	東北以南		・効果・薬害の確認(北 海道) ・薬量300mLにおける 効果・薬害の年次変動 の確認(東北以南)
11. MBH-2003 水和 メタミトロン:35.0% レナシル:40.0% [丸和バイオケミカル]	てんさい (直播)	-								(作用性)
	てんさい (移植)	継								・効果・薬害の確認
	てんさい	継								・効果・薬害の確認(中 耕後, 雑草発生始)

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
12. MCN-8501 液 カーバムナトリウム 塩:33.0% [夕張ツムラ, ZMク ロッププロテクショ ン]	おけら	実	一年生雑 草	土壌混 和	おけら定植15 日以前, 雑草 発生前	60L	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・処理後被覆し, 15 日後に被覆を除去し 耕起によるガス抜き を行う ・低温条件での使用 は避ける ・カーバムナトリウ ム塩の使用上の注意 を遵守する	
	とうき	実	一年生雑 草	土壌混 和	とうき播種15 日以前, 雑草 発生前	60L	全土壌(砂 土を除く)	全域	・処理後被覆し, 15 日後に被覆を除去し 耕起によるガス抜き を行う ・低温条件での使用 は避ける ・カーバムナトリウ ム塩の使用上の注意 を遵守する	
13. NBA-961顆粒水和 メタミトロン:70% [夕張ツムラ, アダマ ・ジャパン, ホクサン]	おけら	実	一年生広 葉雑草	茎葉処 理(全 面)	おけら生育 期, 雑草発生 揃	400～ 600g<散布 水量100L>	全土壌	全域	・展着剤を加用する ・前処理剤との組み 合わせで使用	
	せんきゅう	実	一年生広 葉雑草	茎葉処 理(全 面)	せんきゅう生 育期, 雑草発 生揃期	400～ 600g<散布 水量100L>	全土壌	全域	・展着剤を加用する	
	とうき	実	一年生広 葉雑草	茎葉処 理(全 面)	とうき生育期, 雑草発生揃	400～ 600g<散布 水量100L>	全土壌	全域	・展着剤を加用する ・前処理剤との組み 合わせで使用	
14. NC-622 液 グリホサートカリウ ム塩:48.0% [日産化学]	大豆	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または播 種前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	200～ 500mL <散布水量 25～100L>	全土壌	全域	・散布水量5～6L, 25 ～50L/10aの場合は 専用ノズルを使用す る	・収穫前全面処理での 効果, 葉害の確認(北 海道)
						200～ 500mL<散 布水量5～ 6L>		全域		
					大豆播種後出 芽前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	200～ 500mL <散布水量 5～6L, 25 ～100L>		東北以南		
					茎葉処 理(畦 間)	大豆生育期 雑草生育期		200～ 500mL <散布水量 25～100L>		
茎葉処 理(全 面)	大豆 落葉期 ～成熟期, 雑草生育期	500～ 1000mL <散布水量 50～100L>		・成熟の遅れた株に 散布すると, 子実の 変色やしわ粒等が発 生する可能性がある ・水分含量の高い果 実をつけた雑草で は, 茎葉は枯れても 果実が残る場合があ る ・効果の完成までに2 週間以上を要する						

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
15. NH-007 フロアブル グリホサートイソプロピルアミン 塩:30.0% ピラフルフェンエチル:0.16% [サンダーボルト007 普及会]	大豆	実・継	一年生雑草	茎葉	耕起または播種10日以前, 雑草生育期 (草丈30cm以下)	400～ 600mL <散布水量 100L>	全土壌	東北以南		・播種後出芽前処理での年次変動の確認(東北以南) ・多年生雑草に対する効果の確認(東北以南)
		大豆播種後出芽前, 雑草生育期 (草丈30cm以下)		茎葉 (畦間)	大豆生育期, 雑草生育期					
16. NP-55 乳 セトキシジム:20% [日本曹達]	大豆	実	一年生イネ科雑草	茎葉処理(全面)	大豆生育期, イネ科雑草3～5葉期	150～ 200mL <散布水量 25～150L>	全土壌	北海道	・イネ科雑草優占圃場で使用する ・体系処理:広葉雑草対象の土壌処理剤を使用する ・少量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する ・スズメノカタビラには効果が劣る	
						150～ 200mL <散布水量 100～ 150L>		東北以南		
						200mL <散布水量 25～100L>		北海道		
						200mL <散布水量 100L>		東北以南		
				大豆生育期, イネ科雑草8～10葉期 (草丈30cm以下)	250～ 300mL <散布水量 100～ 150L>		東北以南			
17. NP-66H フロアブル ピロキサスルホン :3.4% リニュロン:24% [日本曹達]	大豆	実	一年生雑草	土壌処理(全面)	大豆播種後出芽前, 雑草発生前	250～ 350mL<散布水量 100L>	全土壌(砂土を除く)	全域		
18. S-482 顆粒水和 フルミオキサジン :50% [住友化学]	さとうきび (春植え)	実・継	一年生広葉雑草	土壌処理(全面)	さとうきび植付後萌芽前, 雑草発生前	5～10g<散布水量 100L>	全土壌(砂土を除く)	全域		・効果・葉害の年次変動の確認
	さとうきび (株出し)	実・継	一年生広葉雑草	土壌処理(全面)	さとうきび萌芽前, 雑草発生前	10g<散布水量 100L>	全土壌(砂土を除く)	全域		・5gにおける効果・葉害の確認 ・10gにおける効果・葉害の年次変動の確認
19. UPH-002 フロアブル フェンメディファム :16% [保土谷UPL]	てんさい (直播)	実	一年生広葉雑草	茎葉処理(全面)	てんさい子葉展開期～本葉抽出期, 雑草発生揃期	150～ 350mL <散布水量 50～100L>	全土壌	全域	・展着剤を加用する ・低用量では効果が劣る場合がある(てんさい2葉期以降, 雑草発生揃期)	
					てんさい2葉期以降, 雑草発生揃期	400～ 600mL <散布水量 50～100L>				

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
20. UPH-004 液 (旧NH-009液) グルホシネート :18.5% [ユーピーエルジャパン]	かんしょ	実	一年生雑草	茎葉処理(畦間)	かんしょ生育期, 雑草生育期	300~500mL <散布水量100~150L>	全土壌	東北以南	・作物にかからないよう散布する ・雑草の草丈30cmまでの時期に散布する	
	ばれいしょ	実・継	一年生雑草	茎葉処理(畦間)	ばれいしょ生育期, 雑草生育期	300~500mL <散布水量100~150L>	全土壌	東北以南	・作物にかからないよう散布する ・雑草の草丈30cmまでの時期に散布する	・薬量300mL<水量150L>における効果の年次変動の確認
21. フェンメディファム 乳 フェンメディファム :14.7% [夕張ツムラ, ホクサン]	おけら	実	一年生広葉雑草	茎葉処理(全面)	おけら生育期, 雑草発生揃	600mL<散布水量80L>	全土壌	全域	・前処理剤との組み合わせで使用	
22. リニュロン 水和 リニュロン:50.0% [TKI社]	そば	—								(作用性)

B. 2020 年度 除草剤

1. Hoe-866 液 グルホシネート :18.5% [BASFジャパン]	さとうきび (春植え)	2021 参照								
	さとうきび (夏植え)	2021 参照								
	さとうきび (春植え)	2021 参照								
	さとうきび (夏植え)	2021 参照								
	さとうきび (株出し)	2021 参照								
2. HSW-1801 フロアブル ピロキサスルホン :3.5% メトプロムロン :25.9%(w/w) [ホクサン]	ばれいしょ	2021 参照								
3. JEA-2001 液 グルホシネート :18.5% [Joy Consulting]	かんしょ	実・継	一年生雑草	茎葉処理(畦間)	かんしょ生育期, 雑草生育期	500mL<散布水量100L>	全土壌	東北以南	・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で散布する	・畦間処理における200mL<水量100L,150L>での効果・薬害の確認 ・畦間処理における500mL<水量100L>での年次変動の確認 ・耕起または挿苗前における効果・薬害の確認
	ばれいしょ	継								
4. SCC-010 液 グルホシネート :18.5% [日本アグロサービス]	ばれいしょ	実	一年生雑草	茎葉処理(全面)	耕起または植付前, 雑草生育期(草丈10cm以下)	100~200mL <散布水量100~150L>	全土壌	東北以南		・耕起または植付前および植付後萌芽前における効果・薬害の年次変動の確認

B. 2020 年度 除草剤 つづき

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
5. UPH-004 液 グルホシネート :18.5% [ユービーエルジャパン]	ばれいしよ	2021 参照								

C. 生育調節剤

1.HSW-2101 乳 既知化合物A:10g/L [ホクサン] 【有効成分含有率公開 6/28】	ばれいしよ	—								(作用性)
---	-------	---	--	--	--	--	--	--	--	-------

D. 展着剤

1.Silwet806 液 ポリオキシアルキレンオ キシド変性シリコーンオ イル:100% [モメンティブ・パフォー マンス・マテリアルズ・ ジャパン]	大豆	—								
--	----	---	--	--	--	--	--	--	--	--